



資料4

これまでに頂いた事実関係に関する 御指摘への回答について

平成30年 1月

環境省 環境再生・資源循環局

＜これまでに頂いた事実関係に関する御指摘＞

- 除染による低減率の分布について
- 仮置場等の保管量・箇所数の推移について
- フォローアップ除染の種類・効果について

除染による低減率の分布について

【宅地、農地、森林、道路の空間線量率の平均値及び低減率（事後モニタリング含む）】

(n=374,017)

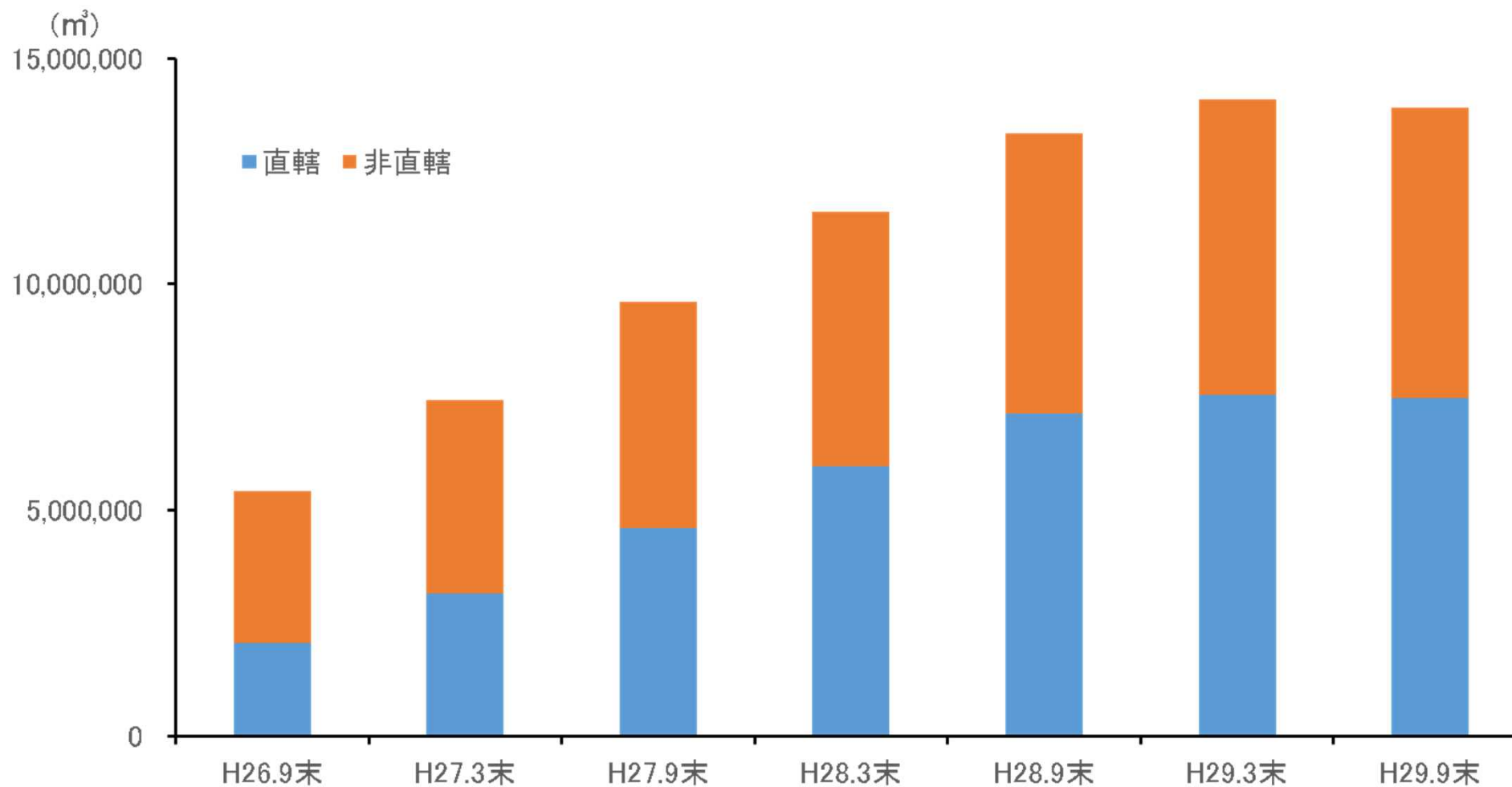
地目	除染前線量帯 ($\mu\text{Sv/h}$)	測点数	① 除染前 ($\mu\text{Sv/h}$)	② 除染後 ($\mu\text{Sv/h}$)	③ 事後モニタリング (最新) ($\mu\text{Sv/h}$)	低減率 ①→②	低減率 ①→③
宅地	1未満	106,133	0.51	0.30	0.22	40%	57%
	1~3.8	90,704	1.93	0.79	0.52	59%	73%
	3.8以上	6,583	4.91	1.52	0.83	69%	83%
	全体	203,420	1.28	0.56	0.37	56%	71%
農地	1未満	42,553	0.60	0.36	0.28	41%	53%
	1~3.8	28,714	1.91	0.69	0.52	64%	73%
	3.8以上	1,628	4.68	1.23	0.91	74%	81%
	全体	72,895	1.21	0.51	0.39	58%	68%
森林	1未満	14,516	0.71	0.59	0.42	17%	41%
	1~3.8	23,423	1.84	1.42	1.02	23%	45%
	3.8以上	1,815	4.71	3.35	2.53	29%	46%
	全体	39,754	1.56	1.20	0.87	23%	44%
道路	1未満	36,190	0.54	0.36	0.27	33%	50%
	1~3.8	20,541	1.86	1.02	0.66	45%	64%
	3.8以上	1,217	4.70	2.20	1.30	53%	72%
	全体	57,948	1.10	0.63	0.43	42%	61%

国直轄地域全体

[実施時期] ・除染前測定 平成23年11月～平成28年7月
 ・除染後測定 平成23年12月～平成28年9月
 ・事後モニタリング 平成26年10月～平成28年12月

※データがある地域に限る。
 帰還困難区域を除く。

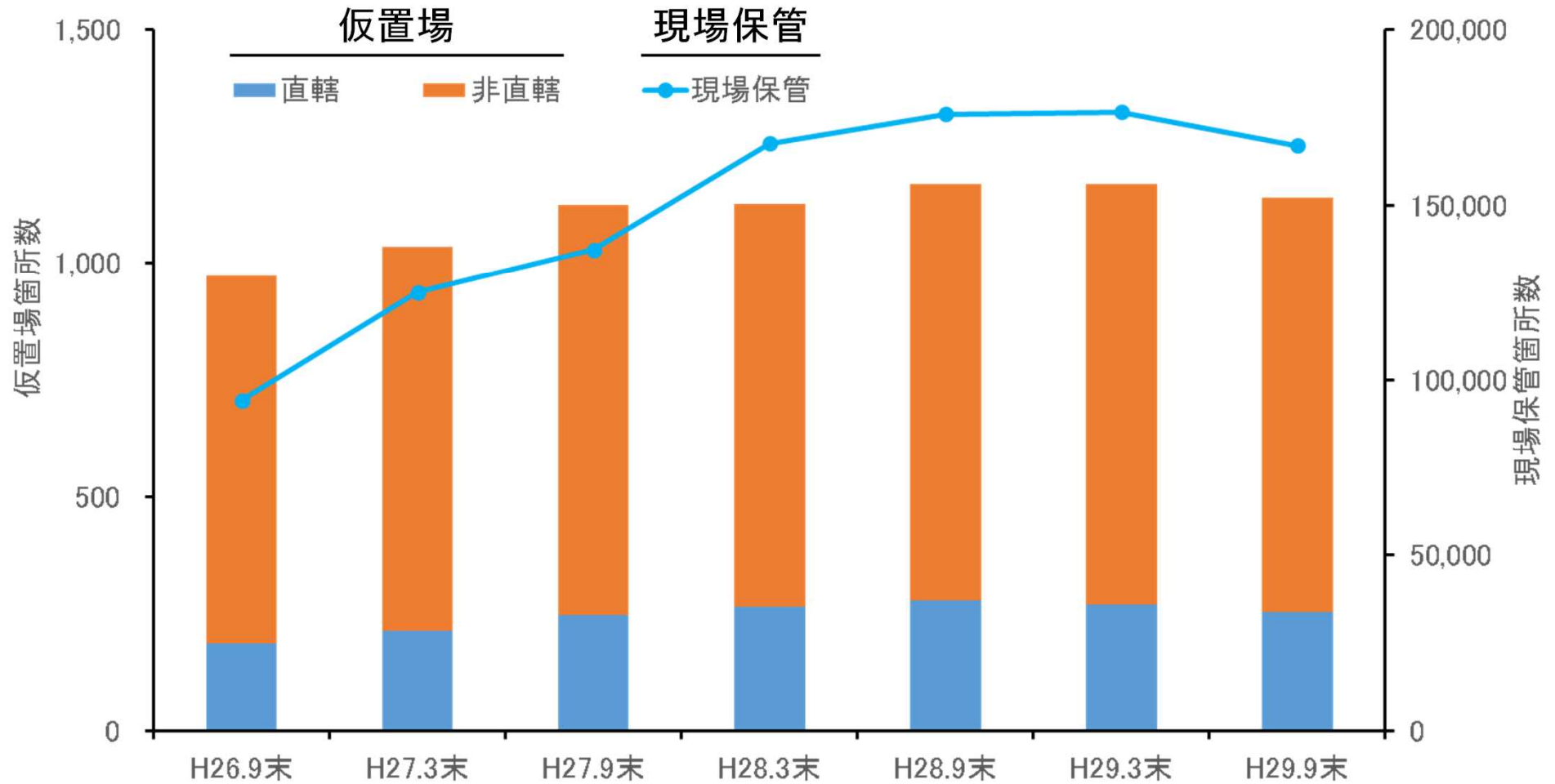
除去土壌等の保管量の推移



直轄	2,057,103	3,154,188	4,598,995	5,967,608	7,127,112	7,556,007	7,468,265
非直轄	3,381,398	4,275,030	5,009,024	5,632,630	6,214,232	6,535,900	6,431,411
総計	5,438,501	7,429,218	9,608,019	11,600,238	13,341,344	14,091,907	13,899,676

※直轄及び非直轄のうち福島県外分については環境省公表資料、非直轄のうち福島県内分については福島県公表資料より作成
 ※袋数で把握されているものについては、仮に「1袋=1m³」として換算

仮置場等の箇所数の推移

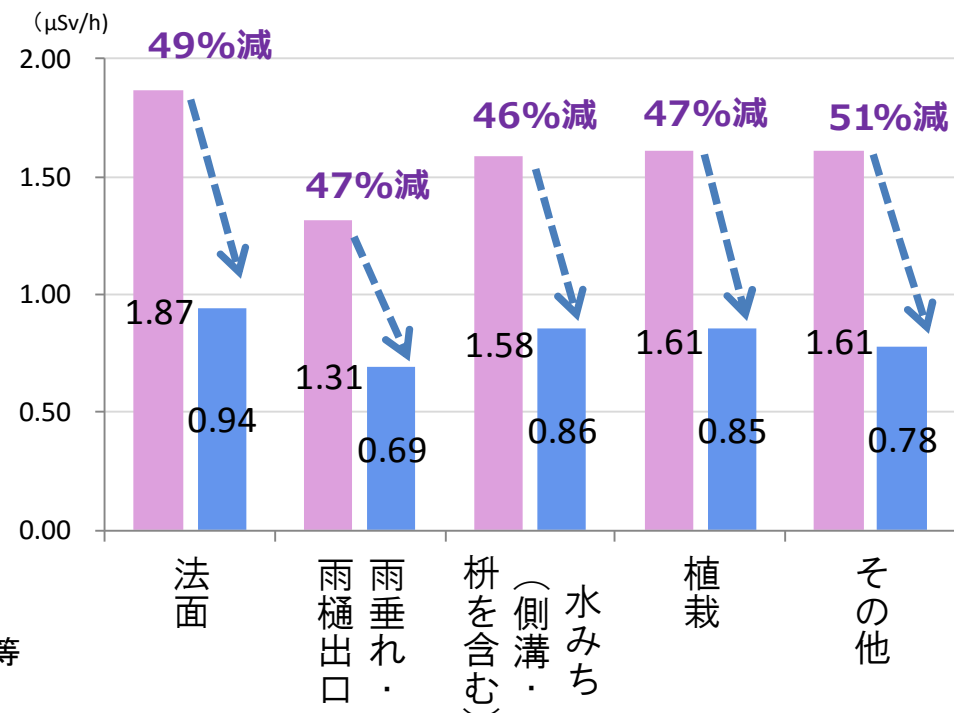
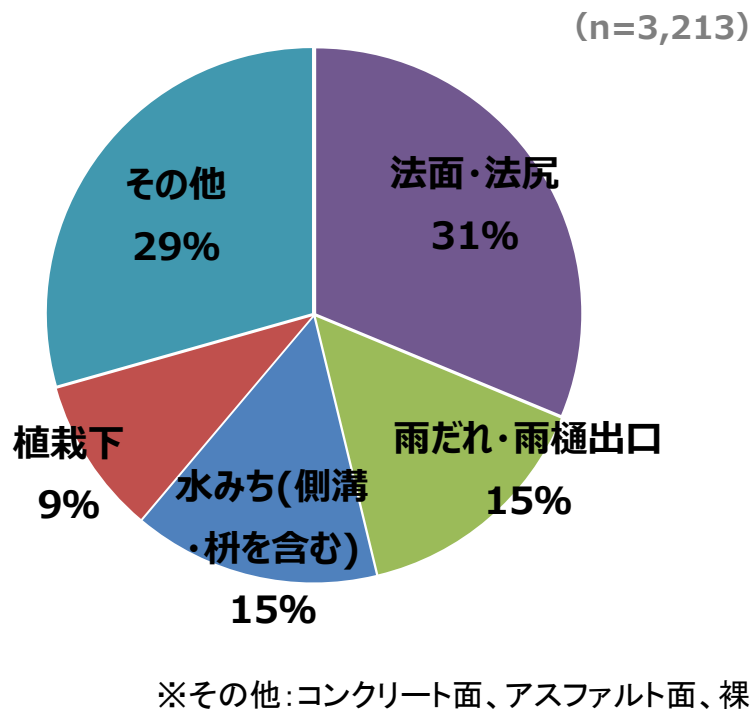


直轄	186	213	247	264	279	269	254
非直轄	787	823	878	864	890	900	887
現場保管	94,287	124,979	137,305	167,606	175,913	176,479	167,015

※直轄及び非直轄のうち福島県外分については環境省公表資料、非直轄のうち福島県内分については福島県公表資料より作成

フォローアップ除染の類型・効果

- 事後モニタリングの結果等を踏まえ、これまで約1万軒においてフォローアップ除染を実施。
- 法面や雨垂れ、側溝等の水みちが主な対象であり、概ね50%程度の低減効果が確認された。



フォローアップ除染による線量低減効果
(地上1m空間線量率)

対象データ(国直轄:H29.3月末まで、市町村:H29.10月末まで)
 ・FU除染約10,000軒のうち、当該宅地全体の線量低減のため比較的まとまった面積において実施したもの(部分除染)が約1,000軒、ホットスポット対策のみを実施したもの(局所除染)が約9,000軒。
 ・部分除染のうち、実施箇所別にデータが集計できた684軒(3,213箇所)を対象に分析